

原子力安全基盤機構・元検査員＝上司の理不尽な指示に抵抗すると、勤務評価D判定・配置転換・ボーナスカット・再雇用拒否！

8月22日付の東京新聞に、原子力安全基盤機構の元検査員が不当なボーナスカットや配置転換、再雇用拒否に対し裁判で闘うことが報じられています。この元検査員は、40年以上も原発の安全審査に携わっていたそうです。この発端は、2009年3月の泊原発使用前検査で異常なデータがあったことを報告し、そのデータの削除指示に抵抗したことにあると報じています。

上司の理不尽なデータ改ざんに従わなかったことを契機に、勤務評価が下げられ、配置転換やボーナスカットが行われました。安全を考えデータ改ざんを拒否した検査員の行動に対するまさに報復的な処遇といえます。逆らうものは人事・賃金で差別するということです。

ところで、私たちJR東海労組合員を狙って不当なボーナス・昇給カットが繰り返し行われています。理由の多くは、この検査員と同じ「総合的判断」となっています。まさに会社のやる事が如何に理不尽であっても、イエスというまで徹底的に人事・賃金で差別するという会社の意思の表れです。裁判で闘う元検査員が受けた「仕打ち」と同質の攻撃です。このような理不尽を許してしまえば、チェック機能が失われ、とんでもない結末を招いてしまいます。

指示不問、ボーナス減、再雇用されず

調査の末に 削除はせず

この件では、D判定が明かないと判断した藤原さんは三月十三日、所属する部長に判定を仰ぐ。部長は問題を抱えず、そのままD判定を保留する。このまま保留し、検査結果の提出を拒否した。これでは上司が何を言ってもいいから、検査結果の提出を拒否した。このまま保留し、検査結果の提出を拒否した。このまま保留し、検査結果の提出を拒否した。

保安院の評価恐れる？

保安院の職員に厳しい質問が相次ぎ、VTR-東京府千代田区東の東海労働組合本部で、八月十一日、泊原発再稼働に対する市民市民団体が開催した集会。原子力安全・保安院の職員に厳しい質問が相次ぎ、VTR-東京府千代田区東の東海労働組合本部で、八月十一日、泊原発再稼働に対する市民市民団体が開催した集会。



「上司が記録削除指示」

泊原発3号機 09年は条件付き合格!?

安全基盤機構を元検査員告発

東京電力福島第一原発の事故から五月以上が過ぎた。この間に政府や電力会社が発表した原子力検査のいいかげんが、気になった人も多し。そんな折、元検査員が安全審査を本気で追及する。この検査員が安全審査を本気で追及する。この検査員が安全審査を本気で追及する。

「上司が記録削除指示」

上司が記録削除指示を出した。上司が記録削除指示を出した。上司が記録削除指示を出した。上司が記録削除指示を出した。

抵抗すると「査定響く」

抵抗すると「査定響く」。抵抗すると「査定響く」。抵抗すると「査定響く」。抵抗すると「査定響く」。



地位確認求め提訴「証言きちんと取り上げて」

原子力安全基盤機構の元検査員が、上司の理不尽な指示に抵抗し、勤務評価D判定、配置転換、ボーナスカット、再雇用拒否を受けたことについて、裁判で闘うことが報じられています。